

鮫島輝彦先生のご逝去を悼む

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 通玄 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025348



鮫島輝彦先生のご逝去を悼む

伊藤 通 玄*

本会の創設・発展に大きく貢献された元静岡大学教授 鮫島輝彦先生は、本年8月13日午後11時40分(現地時間)、第二の故郷=ニュージーランドにおいて67年の生涯を終えられました。公私に亘り先生のご指導を受けた者の一人として、痛恨の念を禁じ得ません。

先生は静岡大学を定年退官された1988年、ニュージーランドに戻られ、オークランド大学の客員教授を65歳まで続けられ、その後ニュージーランド地質調査所で名誉研究員としてご研究中でした。1990年5月、前立腺癌の摘出手術を受けられましたが、既に骨転移が認められ、その後さらに肝・肺へと転移が進み、ついに不帰の人となりました。

先生は1924年、東京都文京区でお生まれになり、東京高等師範学校附属小学校、同中学校、成蹊高等学校を経て、東京帝国大学理学部に進学されました。大学時代は鉱物学を専攻され、鉱物学科をご卒業ののち、同大学院で地質学の研究を深められました。

1951年10月、創設間もない静岡大学文理学部講師として来任され、教育・研究に専念されるとともに、本県周辺の火山・温泉・鉱物資源等の調査、自然災害の予測・防災・減災に関わる調査にも幅広く関与され、県下の地学教育、ひいては自然科学教育全般の振興・発展に尽力されました。

とりわけ、1964年6月に結成をみた本会の運営にあたっては、佐々倉航三初代会長の良き相談役として、本会の発展に貢献され、その後も歴代会長・役員のもと、本会機関誌「静岡地学」への寄稿、野外観察会の案内、「野外観察の手引き」の執筆、普及講演など、県下の小・中・高等学校・大学教育を通じた地学および地学教育の普及・発展に努められました。

1965年、静岡大学文理学部の改組、人文学部・理学部・教養部の創設に当たり、先生は率先して教養部に移られ、一般教育・基礎教育の充実・発展に尽力されるとともに、理学部地球科学科の早期開設にむけて、専門教育の充実にも努められました。この間、静岡県文化財専門委員・静岡県温泉審議会委員等を歴任され、地域社会の発展のために貢献されました。

その後、地熱開発の研究が機縁でニュージーランドに渡られた先生は、1974年～86年の13年間、オークランド大学で火山地質・地熱・温泉・鉱物関係の研究に従事され、研究者交流を通じてわが国とニュージーランドの学術・文化の発展に努められました。

1986年、関係者の強い要請に応じて帰国された先生は、静岡大学理学部地球科学科の主任教授として、地球科学教室の円滑な運営に心を配られるとともに、卒業研究の指導をはじめとする専門教育にとどまらず、再び教養部学生のための一般教育をも担当され、爽やかで明快な、魅力あふれる名講義を展開されました。

1988年2月のご退官記念講演「ニュージーランドの自然と文化」を拝聴し、さらにご退官記念出版

*静岡大学教養部地学教室

「ニュージーランドの自然と文化」(静岡新聞社刊)を拝読し、南半球の友邦への認識を新たにすることが、まるで昨日のことにように想起されます。

先生の魅力あふれるご講義・ご講演・実験、実習や野外指導などを通じ、「地球科学」に関わる研究者・教育者・技術者等の道を選んだ多くの教え子は、今や社会の第一線で活躍され、先生の教えをさらに大きく広げつつありますが、「国土の保全と防災・減災」、「資源・エネルギーの効率的利用とリサイクル」、「地球環境の急速な変貌とそれへの対応」などが大きな社会問題としてクローズ・アップされている現在、先生のご遺訓を改めて噛みしめ、初心にかえって本会の目的達成に努めねばと痛感しています。

ここに先生のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福を祈ります。

なお、ご遺族鮫島テツ子夫人のお住まいは下記のとおりです。

84 Selwyn Ave. Mission Bay. Auckland 5 New Zealand (TEL : 64-9-528-0127)

静岡県地学会のあゆみ (65)

第 29 回総会 平成 4 年 6 月 14 日(日)静岡県防災センターで開催した。記念講演は、「地球温暖化に関する問題点」と題して、藤井敬三会員にお願いした。約 50 名が参加した。県教育委員会後援。議事は、平成 4 年度の事業計画及び予算、役員選出等が承認された(右表参照)。議長：中部支部から井出、岩田両会員。

第 94 回運営委員会 平成 4 年 6 月 14 日(日)総会終了後、県地震防災センターで開催。委員紹介に続き、新年度の活動について協議した。(1)夏季巡検会は、8 月 2 日(日)に「丹沢南地域」を九州大学松田時彦教授の案内で実施する。(2)秋の年会は、東部支部の担当。11 月 3 日(火)に東部地区の会場で開催する。(3)会誌は、秋の年会時に発行する。(4)本会の活動及び運営方法について協議した。

夏季巡検会 平成 4 年 8 月 2 日(日)丹沢南地区の地質について見学した。案内は、松田時彦九州大学教授。参加者 30 名。(本誌に海野会員の報告記事がある。)

第 95 回運営委員会 平成 4 年 9 月 5 日(土)静大教養部で開催。協議事項：(1)年会は 11 月 3 日(火)沼津市民文化会館を予定。発表者は、各支部で 2 名程度。特別講演は、群馬大学教育学部早川由紀夫氏にお願いする。(2)会誌 66 号は、年会発表要旨を中心に編集する。(3)冬季巡検会、30 周年記念事業については、行事委員会、特別事業委員会で検討する。その他、特別事業の経過について、大塚委員長から報告があった。出席者：伊藤(通)、桜井(貞)、長島(昭)、加藤(和)、森、加藤(国)、森田、伊藤(誠)、黒柳、春田、青木、久我、松本、西山、大場、川平、半田、和田、大塚、小山。

会 員 <入会>小林純一(東海大学生)、江淵徹男(三島高校)